

令和4年9月15日

1年生保護者様

丹波篠山市立篠山東中学校
校長 足立 貞治

丹波篠山市立篠山東中学校 学習・生活に関する学力向上プラン

本校では、中学1、2年生を対象に実施した丹波篠山市学力・生活習慣状況調査をもとに授業等の改善を行うため、本紙『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習及び生活習慣の改善や学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

- 国語科では、
全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。基礎学力が備わっており、特に【言葉の特徴や使い方に関する事項】【漢字の読み書き】の力が備わっています。課題点は【文学的な文章を読みとる】や【文章を書く】でした。
- 数学科では、
全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。基礎学力が備わっており、特に【小数・分数】【平均・場合の数】の内容で力を発揮しています。課題は、【平面図形】【単位量あたりの大きさ】【データの活用】を含む問題です。
- 学習習慣・生活習慣等についての意識アンケート
全体的に概ね良好な状態でした。特に【学級環境】の「学級規範意識」「学級の絆」「いじめのサイン」【社会性】の「社会参画」でより良好な解答が見られます。これらは、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちに働きかけてきた成果だと考えています。今後も、家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

現在の課題および今後の学力向上方策

- 国語科
【文学的な文章を読みとる】や【文章を書く】等の読み取り、書き出しの分野に課題が見られました。文章全体を把握しつつ、質問の内容を読みとることや、作文で自分の伝えたいことを効果的に読み手に伝わりやすくまとめることが苦手なようです。今後は、自由作文や時間・時数制限等の作文の課題の取り組み、自分の思いをまとめ表現する活動に力をいれていきます。
- 数学科
【平面図形】【単位量あたりの大きさ】【データの活用】の問題に課題が見られます。図形の領域では、ICTや具体的な教材等を活用して視覚的に図形をとらえ、理解を深めていきます。また、【単位量あたりの大きさ】【データの活用】では、基礎的な問題の繰り返しの重点を置き、データからの読みとり方や事象の数量的なとらえ方について正確に理解させます。加えて、どの領域においても、ペア学習やグループ学習を実施し、話し合いや説明し合う活動を行うことで知識・技能の習得、定着を図ります。
- 『学習習慣・生活習慣等についての意識アンケート』
特に「学級の絆」について良好な解答が見られます。わくわくオーケストラ等の行事で実行委員を組織しての実施により、クラス・学年で絆をより深め合うことができています。毎日の生活や学習・学校行事の中での成功体験を積み重ねながら、互いを認める仲間がいる集団・互いの思いが安心して発信できる集団を構築することで、自分と友だちの関係をよりよいものにしていく工夫をしていきます。

【保護者へのお知らせとお願い】

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習の在り方や生活習慣について、指導方法を検証し、取組を充実させていきます。
ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習のあり方や生活習慣について今一度ご確認いただき、支援をよろしくお願いいたします。
また、子どもたちの持てる力をさらに伸ばしていくために、周りの支えが何より必要です。個々の成長、そしてより良い集団づくりのために、学校と家庭・地域とが連携して子どもたちを支えていきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。